

5回目の認知症サポーター養成講座



認知症キャラバンロバ隊長



令和8年1月25日(日)明治市民センター2階第1談話室で、今年も認知症サポーター養成講座を行い、24人が参加し、社協従事者9人を加えた33人が受講しました。

自分ができる範囲で認知症の人を応援するのがサポーターで、何か特別なことをするというのではなく、認知症の本人や家族をパートナーとして支えるのが役割です。今回で5回目となる養成講座、講師は社協の一員でもある、グレースン居宅介護ケアマネージャー永田雅人氏。

講座では、今回も認知症の正しい知識と決して他人事ではない実態などを学び、近年社協が行った認知症の講演と合わせ、明治地区での理解度が一段と深まったと思われます。



講座の最後はグループワーク

寒さを吹き飛ばす「春のお楽しみ会」



湘南コールやしの実



NSKスウィング・ハード・オーケストラ

春とは名ばかりの寒い朝が続いていた3月6日(金)、明治市民センター4階ホールで、75歳以上のひとり暮らしの方を招いてのお楽しみ会を開催しました。午前、午後2回の参加者合計は98人で盛会でした。

午前に出演の女声コーラス「湘南コールやしの実」午後出演のカントリーダンス「レディーバート」の癒される歌やコスチュームも楽しめるダンスのあとには、初登場の「NSKスウィング・ハード・オーケストラ」17人のビッグバンドで迫力ある10曲とアンコール曲を堪能することができました。

今回も、明治地域包括支援センター職員による詐欺防止のレクチャー、ありがとうございました。

福祉推進会議・講演会

「笑って撃退！悪質商法&詐欺」

2月20日(金)、明治市民センター4階ホールで行った今回の講演会は、啓発落語家・夢見亭わっぱさんを講師に、笑いながらも悪質商法や詐欺の手法を勉強するものでした。

途中休憩をはさんでたっぷり1時間半。

後半では、ハーモニカの演奏で昔の唱歌を参加者が楽しく歌うという時間もあり、今までになかった講演会と好評でした。参加者は従事者を含め68人でした。

